

〈追悼〉 本会顧問 石川忠久先生のご逝去

総本部長 地藏哲暲

石川忠久先生のご逝去の報せは七月十四日早朝に入りました。早速弔意を示したく東京の斯文会に連絡しますと、時節柄家族葬で実施されるのでご遠慮下さい、とのことでした。誠に残念でありました。

先生は夙に良く知られた中国文学の権威で、日本全国に漢詩文化を広めるべく大活躍されてきましたが、お得意の中国語も交えた先生のご講演は親しみやすく判り易く、多くの人々に漢詩の魅力を伝えてこられました。

平成15年には全日本漢詩連盟を設立し会長として各地連盟の結成に尽力され、本会会員も近畿漢詩連盟を通じて多数参加しましたが、そんなご縁から平成20年に本会顧問就



任をお願いしたところ、快くお引き受け戴き、今日まで長年に亘ってご指導頂いて参りました。特に平成26年の本会創立80周年大会にはわざわざ自作の漢詩一首をしたためた色紙を添えて祝辞を寄稿いただきましたのが、今になっては懐かしい思い出です。祝詞にある「漢詩を鑑賞し、

迎得 平成甲午辰
清吟高唱志逾新
律裁解道傳斯在
共賀榮光八十春
石川忠久
慶賀関西吟詩文化協會創立八十周年

むべき路は、幾多の困難を抱え、平坦ではありませんが、本会が率先して世を継いで行かれることを期待する。」のお言葉は遺訓としてこれからも受け継いでいかねばなりません。もう二度と先生のご祝詞は頂戴出来ませんが、先生が20年に亘ってNHKの番組で放送された「中国漢詩紀行」のビデオは、これからも「吟道大学講座」の休憩の合間に上映され、私たちを中国漢詩の世界に引き込んでくれるものと存じます。

会員を代表し、長年に亘る石川忠久先生の御恩徳に深く感謝申し上げ、心からご冥福をお祈りし、哀悼の誠を捧げます。

合掌